

「アウトドア・アクティビティ拠点施設」が  
いよいよ来年オープン予定!

オープンに先駆けて、留萌で出来る  
アウトドアアクティビティを紹介していきます!



## 今月のインタビュー

stand up paddle boarding sure.

いけ だ しげ き  
池田栄樹さん

### プロフィール

出身地/下川町

略歴: 2023年にstand up paddle  
boarding sure. を設立。

### SUPを始めたきっかけを教えてください。

元々、石狩や銭函でカイトサーフィンを楽しんでいたのですが、カイトサーフィンのお店にボードが売っていたことをきっかけにSUPを知り、石狩の仲間とともに風がないときの時間つぶしとして2013年に始めました。

当時はただの時間つぶしだったので面白さを感じていませんでしたが、4年ほど前に留萌地域でやりたいという人が偶然いたので、誘っている間に愛好者がどんどん増えていきました。

あまりにも愛好者が増えてきたので、安全のため3年前に友達1名とともに、支笏湖でインストラクターの資格を取得しました。

現在は留萌地域に50人ほどの愛好者がいます。

### SUPの魅力を教えてください。

年齢や体力関係なく、誰でも簡単にできることです。

私の子どもは幼稚園時代からやってましたし、本州でレースに出場しようと頑張っている80代の女性もいたり、留萌地域でも70代の方がやっています。

イベントなどで指導してみんなが楽しんでくれるととてもうれしいです。

クルージング…海や湖でボードの上に立ち、パドルを使って水を掻きながら、長い距離を乗ること。

カイトサーフィン…風力を利用して大きな凧(カイト)を操作しながらボードに乗って水上を滑走するウォータースポーツ。

年齢は体力関係なし



▲留萌地域でも愛好者が増えているSUP

## 留萌でのSUPでの楽しみ方を教えてください。

私は浜中海浜公園や瀬越海岸をスポットにしている、4月から10月くらいまでがシーズンです。SUPは波乗りもクルージングもできますし、SUPフィッシングやSUPヨガ、ワンちゃんと一緒に乗るドッグSUPもあります。

## SUP愛好者を増やすために必要なことはなんですか。

ゲレンデの整備が大切だと思います。今年、浜中海浜公園施設にシャワーがつくことがゲレンデの整備に該当します。また、SNSでの情報発信も重要です。

「ここにいいスポットがあるよ」と伝えると、愛好者の口コミで広がっていきます。

## アウトドア・アクティビティ拠点施設に何を期待しますか。

アウトドア・アクティビティ拠点施設の前にある浜を、モンベルがカヌーなどのパドルスポーツで有効活用してくれたら、我々も活動しやすくなります。

モンベルが来るおかげで、8月に留萌港でSUPのSUPA（日本スタンドアップパドルボート協会）公認レースが開催されることになりました。世界2位の日本人選手も来るので期待しています。

モンベルアウトドアヴィレッジについては、  
留萌市ホームページよりご覧ください。

留萌市  
ホームページ  
のQR▶



## SUPレース大会開催について

▼SUPレースは、決められたコースを漕ぎ進み、タイムとスピードを競い合う、全国各地で開催されているレースで、認知度も高まっています。

▼8月31日、留萌港で初めてのSUPレース大会『RUMOI SUP FESTIVAL 2025』が開催されます。初心者から上級者までが楽しめるように、1kmから6kmまでの様々な距離でのレースを予定しています。また、仮装もできるDOGSUPレースも予定しており、選手だけでなく、市民や観客も楽しめる絶好の機会となっていますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

レースについての詳細・エントリーはこちらから  
(留萌市ホームページのQR▶)



受付・お問い合わせは留萌市経済観光課まで Tel. 42-1840